



日向市立財光寺南小学校 学校だより

令和6年1月24日

財南っ子

「創造性に富み 主体的で思いやりがあり 心身ともにたくましく生きる児童の育成」

「高森文夫を偲ぶ詩表彰式」がありました

日向市の文化人には国民的歌人若山牧水と共に、日向が輩出した詩人高森文夫氏がおられます。高森文夫は明治43年東郷町で生まれ、延岡中学校の英語教師となります。昭和12年に第1詩集「凌渫船（しゅんせつせん）」を出版。昭和16年に中原中也賞を受賞されています。その後、昭和39年に延岡市教育長に就任されます。その頃から、東郷小学校の校歌を始め、県内各地の学校の校歌を作詞されました。本校の校歌も作詞されています。昭和43年に第2詩集「昨日の空」を出版。同年東郷村教育長に就任し、昭和49年に「牧水かるた」を完成されています。昭和60年には東郷町長に就任され、平成10年に永眠されました。

この高森文夫を偲ぶ詩表彰式が行われ、応募作品649点の中から16名が選ばれ、本校は2名の児童の作品が入賞しました。ぜひ紹介したいと思いここに掲載しました。どうぞ、2人の豊かな感性から生み出された言葉のリズムと詩に込められた想いを感じてみてください。

また、宮日新聞や夕刊デイリー等にも、本校の子ども達の作品が掲載されることがあります。いろいろなところで活躍している子ども達のがんばりに、元気をもらいます。



ぼくの大事な家族
四年 河野惺南

ぼくの家族お母さん
しゅうじが上手なしゅうじマン
きれいに書くこといつしんで
きれいにかくまでがんばるお母さん

ぼくの大事な家族さ
ぼくの家族お父さん
おどろくぐらいいの力もちで
大きいイヤをかた手でもちあげる

スーパーマン
家族を笑顔にさせて
よろこばせるお父さん

ぼくの大事な家族さ
そしてぼく
いつもがんばりやさんで一生けん命

家族みんな愛してる
子ども一人でもだいじょうぶ

ぼくには家族がついてる
ぼくの大事な大事な家族が



未来の自分メッセージ
五年 柴田陽奏

明日のわたしは
どれだけじょうたつしたんだろう
今日にくらべて
うまくなつたかな
一年後のわたしは
まだダンスつづけてるかな
つづけていてね

五年後のわたしは
もう、十六さい
ぜつたいに
五年後のお手本になるような
みんなのお手本になるような
中きゅうになれたかな
二十年後のわたしは
大人になつて
プロダンサーになつているかな
これからもずっとダンス
づづけてね

<お知らせ> すばらしいことと残念なこと・・・

先日、地域の方からお電話がありました。内容は、隣のおばあちゃんがゴミ出しをしていたときに、近所に住む6年生の子が、「手伝いましょうか」と言って、一緒に手伝っていました。私はそれを見かけて、こんな気が利く優しい小学生もいるんだなあとうれしくなってお電話しました。おばあちゃんはとても喜んでおられたそうです。

すばらしい子ども達が育っています。これからも地域での子ども達の善行など教えていただけると、紹介したいと思います。

時々、地域の方から、子ども達の下校後の遊び方や遊ぶ場所のこと電話があります。道路で遊んだり、大声を出したり、壁にボールをぶつけたり、注意されても素直に聞けなかったり・・・。学校でも話をしていますが、ご家庭でも指導をお願いします。

元気に遊ぶことはいいことですが、マナーを守って楽しく遊びましょう。



先日読んだ雑誌に、ビリギャルの小林さんのお話がありました。小林さんは、悩んでいる子どもたちに道を開くきっかけになってほしいと「不可能を可能にする5つのポイント」と題して講演活動を行っているそうです。今日は、その5つのポイントを紹介します。子育てや学校での指導の参考にしたいですね。

ポイント1 「ワクワクする目標を作ろう」



ポイント2 「根拠のない自信をもとう」



ポイント3 「一歩踏み出す勇気をもとう」

ポイント4 「目標や夢を公言しよう」

ポイント5 「マイナスの感情をプラスの力に変えよう」

どのポイントも、なるほどと思うものばかりです。

わたしたちは、子どもがどのように人生を切り開いていくのか見守ることや、「あなたなら大丈夫」と信じて自信をもたせること、子ども達の可能性を引き出させるような言葉かけをしていきたいですね。

【3月の行事予定】

1日 (金)	集金日
4日 (月)	図書返却 (~8日)
8日 (金)	お別れフェスティバル
11日 (月)	教育相談
14日 (木)	卒業式予行
16日 (土)	財光寺中学校卒業式
25日 (月)	卒業式
26日 (火)	修了式
28日 (木)	離任式

